

# 秋田赤十字乳児院

広報誌 第51号

理 念  
私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

# よちよち ちゃん



## ひよこ組

こんなお天気のいい日はお散歩へ Let's go!!  
お散歩が大好きなひよこ組さん。たくさん秋の自然を見つけたらちょっとベンチでひと休み。  
「お腹空いたなあ〜」「今日のご飯は何かな？」  
そんな会話が聞こえてきそうです。 (保坂(優))



2人でどんなお話ししてるのかな？

## ぱんだ組

動物園にお出かけしたぱんだ組さん。  
初めて見る本物の動物たちに興味津々でした。  
キリンさんと一緒に、はいっ！決めポーズ♪  
僕たちかっこよく写ってる？ (和田)



奇跡的に全員カメラ目線！  
キリンさんこっちを向いて！



保育室ダイアリー

## ばんび組

バスに乗ってアルヴェへ行ったばんび組。初めてのバスに大興奮の子と緊張で固まる子。貴重な体験だったね。未来センターには乳児院ではお目にかかれぬ遊具やおもちゃがいっぱい！キラキラと目を輝かせながら夢中で遊んでいました。 (高杉)



遊ばにゃ損、損！！

## ことい組

待ちに待った飛行機を見に空港へ。  
離着陸の様子を「なにしてるのかな？」「またきてね〜」  
と言いながら真剣に見守っていました。  
お昼には回転寿司に行ってお寿司やデザートをお腹いっぱい食べましたよ！ (大石)



大きくなったらパイロットになります！

# 「今日からここは僕だけの特等席」 ～アートで広がる、里親制度～

今年度、里親月間（毎年10月）の目玉企画として、秋田公立美術大学と共同で「里親制度普及啓発ポスター展」を開催しました。学生さんの若く、芸術的な感性で里親の温かさが伝わるような作品を依頼したところ、全31作品のとても素晴らしい作品を仕上げてもらいました。

この中から優秀作品を1つだけ決めさせていただき、普及啓発用のチラシとクリアファイルのデザインとして採用し、県内各所に配布しました。



このたび、見事優秀作品として選ばれました、鬼柳瞳子さんにインタビューしました！

①デザインに込めた思いは？

⇒お父さん、お母さんとなる人がいる事で、子供の周りにあたたかい空間が生まれているようすを表現しました。柔らかい表現をする為に手描きで優しい線を意識しました。

②なぜ美術大学で学ぼうと思ったの？

⇒元々、描いたり作ったりする事が好きでしたが、あまり明確な目標などが無く、秋美で幅広く学んでやりたい事を見つけたかった為です。

③将来の夢は？

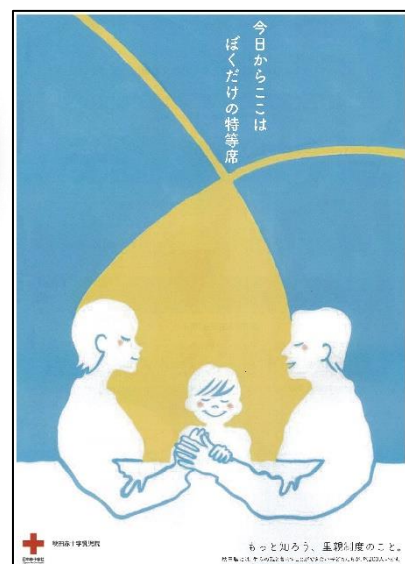
⇒今は映画やドラマなどの美術や装飾のお仕事に興味を持っています。

④これから里親になろうか悩んでいる方々へ一言お願いします。

⇒私のポスターが、里親になろうか悩んでいる方、里親に興味を持った方の背中を押すきっかけになったら幸いです。



秋田公立美術大学  
鬼柳 瞳子さん



優秀作品のポスター



また、秋田県からの要請により、当乳児院職員が秋田県里親制度地域セミナーにも参加しました。

県内各地域を訪問し住民（市町村職員、社会福祉協議会、ファミリーサポーター、民生児童委員、住民等）を対象に、里親制度に関するクイズや事例発表を通して、普及啓発を図ることができたと思います。

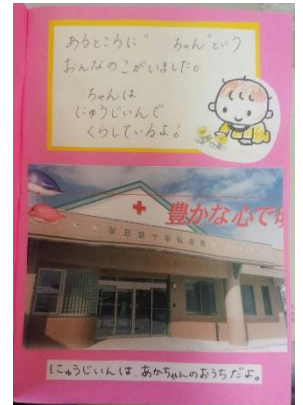
来年度は、今年できなかった全市町村での開催を計画中です。みなさま機会がありましたら、奮ってご参加ください！

# 繋ぐ つなぐ TUNAGU～元気でね。また会おうね。～

乳児院から児童養護施設への旅立ちをスタッフみんなで応援し見送ります。

『小さかった赤ちゃんが大きくなって新しいお家にお引越しをすることになりました』で始まる絵本(右図参照)は、子どもひとり一人の乳児院での成長を振り返り、これからの新たな施設での生活を見通しできる内容で、担当養育者が手作りします。絵本が擦り切れるほど繰り返してみてもいいですが、お別れを察してか「見ない」と言う子どももいます。どちらの気持ちも大切なその子の気持ちと受け止め寄り添います。

また、受け入れる児童養護施設と連携し訪問や宿泊体験を繰り返し、お引越し(退所)に向けての準備を進めていきます。子どもにとっては未知の世界、想像できないくらい不安な気持ちに養育者が寄り添い、新しい生活へと繋いでいきます。育つ環境や養育者が変わっても、子どもの人生を繋いでいくことが未来に向かう力となることを信じて取り組んでいます。



## もっとクロス!



### 編集後記 ～スタッフから一言～

すぐそこに冬が近づいている…というか雪がちらつき…ついにやってきたな冬!と感じている…今日この頃…秋号でございます。

今回は、保護者からお預かりしている大切な子どもたちを「今より、もっと幸せな場所へ繋ぐ」という気持ちで日々養育をしている乳児院の活動をご紹介させていただきました。

退所していく子どもたちの未来が明るく、そこへまっすぐ成長してくれることを、職員一同願っております。

(田口)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院  
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3  
TEL018-884-1760 FAX 018-884-1762  
電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)

救うことを、つづける。  日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

NHK 海外たすけあい | 12.1(Sat)~25(Tue)

